日刊 動労千葉
87. 4. 20
No. 2531
国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六・（公衆）〇四七二（22）七二〇七

国鉄「分割・民営化」阻止！三里塚二期着工粉砕！

団結をさらに打ち固め 労働者を守る基本部隊へ

第九回支部代を開催（4/16）

中江、北原選挙闘争の勝利かちとれ

動労千葉は、四月十七日、第九回支部代表者会議を開催し、基本協約をめぐる情勢、さらに、「四・七」デッチ上げに対して全力で反撃し、粉砕することを確認し、当面、最終段階に突入した中江選挙闘争勝利のために全力で取り組むことを意志統一した。

闘う意識をさらに発揚させよう

すでに明らかなように、「新会社」は、大きな矛盾と破綻へむけての第一歩をしるしたが、なおかつ国鉄労働運動の中からまともな労働組合を排除していくことを追求している。その中でわれわれも新たな闘いの出発点を形成しなければならない。

基本協約の問題についても「労働監獄」を職場の中に作ることがありありと書かれている。平和条項、経営協議会への参加、あるいは争議権に対する様々な制限が網羅されている。この、三年間続いた差別・選別攻撃が、さらに陰湿に進められることは必至だ。

この攻撃を許さない闘いを創ることが最も重要である。特に動労千葉は、二波のストライキを中心に闘いぬき、国鉄労働運動の中で唯一、団結を固持し、一人ひとりの組合員が誇りを失わずに今日に到った。さらに、闘う意識を発揚させながら闘いを進めていかなければならない。

そういう時こそ、労働者を本当に守る労働組合が重要視されてくる。われわれは、その基本部隊にならなければならない。

全国の労働者は闘いを求めている

十二日投票された統一地方選で、中曽根に対して追打があびせられ、支配階級が揺れ動きだした。また、今秋には同盟が解散し、総評も事実上解散する方向で動きだした。

そういう中で、動労千葉への期待感が非常に大きくなってきている。これに応え、全国に「動労千葉を支援する会」を作る取り組みも進めている。

十二日の投票で現われているように、全国の労働者は中曽根と対決することを要求している。

動労千葉は、今まで日本の労働運動が到達したことのない偉大な地平にむけて大きなチャレンジを開始した。組織・財政基盤の確立のため物資販売運動の強化、さらに、共同購入の拡大をかちとろう。

そのためにも、あと一週間と迫った中江選挙闘争の圧倒的勝利が必要だ。総動員体制を組み、船橋に集中し、トップ当選を目指して闘いぬく。

住田・松崎連合粉砕
―動労水戸スト権確立―

幕張支部において、動労「本部」土屋粋による「暴力事件」デッチ上げという新たな組織破壊攻撃がかかってきたが、組織をあげて反撃し、粉砕する。

二月十六日の振り分けから三月十日の配属問題では、特に東京南に現われているように、国労を職場からあらかた排除している。まさしく、東日本の中では住田と松崎連合の階級的利害は一致している。このことを自覚して、これに対応しうる闘いを展開しなければならない。

動労水戸でも四月二日付で委員長と書記長が強制配転させられた。しかし、動労水戸は十六日に臨時大会を開き、不当配転には「ストで闘う」ことを決定し、スト権を確立した。

「新会社」になって、組合破壊とともに権利の侵害が押し寄せてくる。

当面する取り組み

4／22　第八回確認書公判　千葉地裁　13時半
〃　第二回県交運幹事会　労福センター
26　統一地方選投票日
27　組合費公判　東京高裁　16時
28　警告書公判　千葉地裁　15時
5／1　30　メーデー前夜祭　メーデー

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！